

お詫びと訂正

第54回日本てんかん学会学術集会（名古屋）プログラム・予稿集に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

■所属先訂正

P34、P149 シンポジウム1 【YES symposium】COVID-19 とてんかん SY1-3

（変更前） 榑野 尚人 TMG あさか医療センター

（変更後） 榑野 尚人 TMG あさか医療センター・てんかんセンター

■所属先、演題名訂正

P.19 ランチョンセミナー3 「増加する高齢者てんかん—その特徴と新しい治療戦略—」

（変更前）

座長：赤松 直樹 国際医療福祉大学成田病院

LS3-1：高齢者てんかんの病態と特徴 上原 平 国際医療福祉大学成田病院

LS3-2：高齢者てんかんにおけるペランパネルの有用性 山本 貴道 聖隷浜松病院

（変更後）

座長：赤松 直樹 国際医療福祉大学医学部/福岡山王病院

LS3-1：高齢者てんかんと一過性てんかん性健忘の特徴 上原 平 国際医療福祉大学成田病院

LS3-2：ペランパネル単剤療法:Freedom Study から real world まで

—高齢者てんかん治療における処方のコツとピットフォール—

山本 貴道 聖隷浜松病院脳神経外科

■演題名、予稿本文訂正

P.73、P.262 一般演題（口演）4 「遺伝」O4-1

（変更前）

《演題名》

8 か月時に発症し診断に難渋した IPLPBP/I 遺伝子変異によるビタミン B6 依存性てんかんの一例

A case of vitamin B6-dependent epilepsy caused by IPLPBP/I gene mutation onset in 8 months.

《予稿本文》

2行目：2016年に IPLPBP/I (Pyridoxal～

3行目：～難渋した IPLPBP/I 遺伝子～

9行目：10歳時に IPLPBP/I 遺伝子～

10行目：遺伝学的解析では IPLPBP/I 遺伝子に～

11行目：【考察】IPLPBP/I 遺伝子変異～

（変更後）

《演題名》

8 か月時に発症し診断に難渋した *PLPBP* 遺伝子変異によるビタミン B6 依存性てんかんの一例

A case of vitamin B6-dependent epilepsy caused by PLPBP gene mutation onset in 8 months.

《予稿本文》

2行目：2016年に PLPBP (Pyridoxal～

3行目：～難渋した PLPBP 遺伝子～

9行目：10歳時に PLPBP 遺伝子～

10行目：遺伝学的解析では PLPBP 遺伝子に～

11行目：【考察】 PLPBP 遺伝子変異～

---

■共著者名、共著者所属先追加

P.97、P.324 一般演題（口演発表）23 「症例報告」O23-6

（変更前）

白木 杏奈<sup>1)</sup>、隈井 すみれ<sup>1)</sup>、鈴木 良輔<sup>1)</sup>、澤村 文<sup>1)</sup>、川口 将宏<sup>1)</sup>、鈴木 健史<sup>1)</sup>、牧 祐輝<sup>1)</sup>、  
山本 啓之<sup>1)</sup>、大野 敦子<sup>2)</sup>、中田 智彦<sup>1)</sup>、城所 博之<sup>1)</sup>、沼口 敦<sup>3)</sup>、夏目 淳<sup>1,4)</sup>

1) 名古屋大学大学院医学系研究科小児科

2) 豊田市こども発達センターのぞみ診療所小児神経科

3) 名古屋大学医学部附属病院救急科救急・内科系集中治療部

4) 名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座

（変更後）

白木 杏奈<sup>1)</sup>、隈井 すみれ<sup>1)</sup>、鈴木 良輔<sup>1)</sup>、澤村 文<sup>1)</sup>、川口 将宏<sup>1)</sup>、鈴木 健史<sup>1)</sup>、牧 祐輝<sup>1)</sup>、  
山本 啓之<sup>1)</sup>、大野 敦子<sup>2)</sup>、中田 智彦<sup>1)</sup>、城所 博之<sup>1)</sup>、沼口 敦<sup>3)</sup>、石井 敦士<sup>4,5)</sup>、  
廣瀬 伸一<sup>6)</sup>、夏目 淳<sup>1,7)</sup>

1) 名古屋大学大学院医学系研究科小児科

2) 豊田市こども発達センターのぞみ診療所小児神経科

3) 名古屋大学医学部附属病院救急科救急・内科系集中治療部

4) 医療法人社団高邦会福岡山王病院小児科

5) 国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科

6) 福岡大学医学部総合研究センター

7) 名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座

---

■共著者所属先、予稿本文訂正

P.134、P.407 一般演題（ポスター）22 「症例報告」P22-10

（変更前）

《共著者所属》

野崎 靖之、野澤 里奈、斎藤 清美、鶴見 俊之、丸木 倫太郎、小俣 英美、小俣 健太郎  
新小山市民病院小児科

《予稿本文》

1行目：発症した11歳男児例を～

(変更後)

《共著者所属》

野崎 靖之<sup>1)</sup>、野澤 里奈<sup>2)</sup>、斎藤 清美<sup>2)</sup>、靄見 俊之<sup>2)</sup>、丸木 倫太郎<sup>2)</sup>、小俣 芙美<sup>2)</sup>、小俣 健太郎<sup>2)</sup>

1) 新小山市民病院小児科 2) 新小山市民病院臨床検査科 3) 新小山市民病院リハビリテーション科

《予稿本文》

1 行目：発症した 7 歳男児例を～

---

### 座長変更のお知らせ

■P.29、P.62 企画セッション 11 「海馬をめぐるバイオロジーとパソロジー」

9 月 24 日 (金) 17:00～19:00 第 3 会場 (レセプションホール)

(変更前) 大野 行弘 (大阪医科薬科大学薬学部薬品作用解析学研究室)

(変更後) 小山 隆太 (東京大学大学院薬学系研究科)

---

### 一般演題 取り下げ

■P73、P261 一般演題 (口演) 3 「分類・症候群」 O3-2

筆頭演者：宇田川 紀子

演題名：心筋障害と非典型的な脳波所見を示した遊走性焦点発作を伴う乳児てんかんの同胞例

■P106、P341 一般演題 (English Session) 5 「Neuroimaging」 ES5-1

筆頭演者：Yoji Okahara

演題名：Language lateralization in patients with epilepsy by using passive auditory stimuli in functional MRI